

【取材のご案内】
報道関係各位

2024年6月吉日
株式会社リィ

【取材ご案内：7/5(金)13:00 @東京蔵前ムーンプレイススタジオ】

大人の体力測定会開催：株式会社リィが東証プライム上場子会社に運動機会を提供

～ウェアラブルデバイスを活用した体力測定会を実施し、運動でチームビルディングを支援～

座りすぎ大国日本において「座らない経営」を提唱し、全国20カ所で児童発達支援事業「Lii sports studio」や成人向けフィットネススタジオ「ACT」等を運営する株式会社リィ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長 廣瀬あゆみ）は、株式会社電算システムのデジタルイノベーション事業本部 ICT事業企画室 企画マーケティング部の半期決起会の一部プログラムとして2024年7月5日(金) 13:00より、ムーンプレイススタジオ（東京蔵前）にて開催します。

当社は、運動を軸にした事業展開をしており、現在は子どもたちの身体と心の成長・発達を最大化させることを目指したスポーツ療育特化型の児童発達支援施設や、成人向けのフィットネス事業「加圧スタジオACT」と接骨院事業「まちの接骨院」を運営しています。運動で心拍数を上げることで、心身ともに健康になることや生産性向上につながることも、また人々の幸福に寄与することが科学的にも証明されており、ウェルビーイング経営実現に向けて、実験的に社内で「ウェアラブルデバイスを活用した福利厚生ドキドキポイント制度」、「1・5・1運動」、「座らない入社式」などを実施してまいりました。その成果として業績拡大をする中でも維持される高い従業員満足度を獲得することができました。

これらの取り組みが評価され、今回、協業先であった株式会社電算システムに「大人の体力測定会」と題した運動機会を提供することとなりました。

つきましては、報道関係の皆様にはご取材を賜りたく、ご検討よろしくお願ひ申し上げます。ご出席の折には、7月3日（水）18時までにメール（l ii_pr@liistyle.co.jp）、または FAX 返信票にてお申し込みください。



▲左会場イメージ写真、右リィ社内座らない入社式写真（2024年4月）

■ご取材協力できること

- ・デスクワークを離れ、株式会社電算システム社員が運動にはげむ様子
- ・株式会社リストアップが運動を提供する様子
- ・株式会社リイ及び株式会社電算システム社員への個別インタビュー

■2024年度 大人の体力測定会 概要

開催日時：2024年7月5日(金)13:00～16:00

参加者：株式会社リイ社員3~4名、株式会社電算システム社員18名（男性7名、女性：11名/50代：2名、40代：3名、30代：8名、20代：5名）

会場：東京蔵前ムーンプレイススタジオ

住所：東京都台東区駒形2-1-5

アクセス：都営大江戸線 蔵前駅 徒歩1分、都営浅草線 浅草駅 徒歩7分、東京メトロ銀座線 田原町駅 徒歩11分

■当日タイムテーブル

13:00-13:10 開会式

13:10~15:00 体力測定（反復横とび、短距離走、立ち幅とび、大縄、しっぽとり等の予定）

15:00-16:00 表彰式

■座らない経営/入社式実施背景について

日本は、座位大国と言われ、オーストラリアの研究機関で、日本人の成人が平日に座っている時間が、世界20カ国中ワースト1位、もっとも長い1日420分=7時間という調査結果が発表されています。長時間座り続けることは、血流や筋肉の代謝が低下し、心筋梗塞、脳血管疾患、肥満、糖尿病、がん、認知症など健康に害を及ぼす危険性が指摘されています。1日に座っている時間が4時間未満の成人と比べ、1日に11時間以上座っている人は死亡リスクが40%も高まるといわれ、2011年、WHO（世界保健機関）によれば、「世界で年間200万人の死因になる」という発表がされています。座る時間が長いという事も喫煙や飲酒と同じように健康リスクを脅かす問題の一つだと考えられています。また、テレワークの普及により運動不足がより深刻になったと言われています。

さらに、座りすぎは体の健康だけではなく、メンタルにも悪影響を与えることがわかっており、「うつ病」にもつながる危険性も指摘されています。

このような背景から、リイでは運動テックを推進する一環として、「座らない経営」を展開しています。

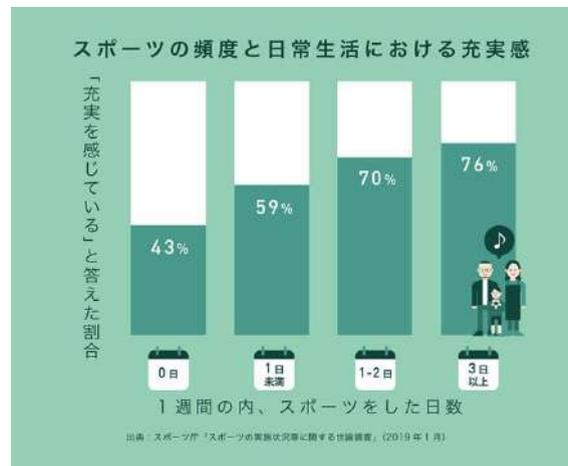
■「座らない会社経営」施策一覧

①座位時間を置き換える「1・5・1」運動

前述のとおり、座りすぎは健康、強いては幸福度に悪影響を及ぼします。一方運動は、脳から大量に放出されるドーパミンがポジティブになる性質を引き出すとされており、スポーツ庁が2019年1月発表した「スポーツの実施状況等に関する世論調査」等では、運動を習慣化されていることが幸福度に関わるとされています。また、ベストセラー書籍「運動脳」（アンデシュ・ハンセン（著））等の科学根拠

を参考にすると、幸福度以外にも集中力も向上すると言及されており、その効果は運動の際に心拍数を向上させると高くなることが明らかになっています。

これらを参考に、業務時間内で座ってる時間を「心拍数を上げる短時間の運動時間」に置き換えられれば、たとえ業務の時間を多少減らしても、短期的には集中力向上・気分転換、長期的には健康促進・幸福度向上による離職や休職防止等による生産性向上が見込めると仮定し、全社員参加型の「1・5・1運動※」を業務時間内に導入しております。実施した結果、従業員の座りすぎ防止だけではなく、全員で同じ運動をルールを設けながら、各々が出来る形で行うことで、心理的安全性の向上、チームビルディングにも効果があるという定性的アンケート結果も得られています。

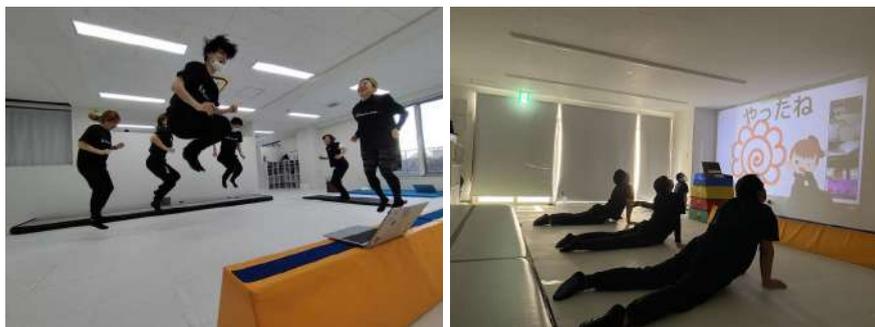


(▲スポーツ庁2019年1月「スポーツの実施状況等に関する世論調査」)

※「1・5・1運動」とは

* 勤務時間内の朝1分・昼5分・夕1分の運動で心拍数を上げ、幸福度や生産性向上を図る取り組みです。運動時には各社員がスマートウォッチFitbitを装着し、心拍数を計測します。

毎回、全社をオンラインでつなげ、自社インストラクター考案のメニューを制限時間内全力で実施する有酸素運動のハードなメニューを全社員一斉に行います。



▲当社で実施している運動メニュー風景

②「座らない入社式・全社会議」実施

半期に一度の全社会議を開催しているのですが、通常会議となると座って話を聞くという形が主流となっていました。しかし、全社会議の目的が会社への幸福実感・ロイヤリティ向上を目指していた為、2023年4月の会議は座らない入社式・全社会議として、午前中は、体を動かして心拍数を上げる、シャトルランやチャンパラ等の運動を行った後にワーク等を行う形に変更し、“座らない入社式・全社会議”を開催しました。

https://prone.jp/press_releases/3471



▲全社会議イベントの様子

③歩調を合わせて心理的安全向上、ウォーキング面談

上司と月1程度面談を実施する際に、軽いウォーキングをしながら面談を行っています。実際に歩調を合わせるという効果は、心理学の「類似性の法則＝似ているものに愛着や安心感をもつ法則」が働き、相手からの信頼を得やすくなります。また、ウォーキングなどの運動は、セロトニンなどの心身の健康を保つ幸福物質の分泌が期待でき、合わせて運動により心拍をあげることで抗うつ剤と同じ効果も期待することができます。その為、信頼関係をお互い保ちながら、前向きな気持ちで面談ができると考えています。

④面接・会議の前は「運動アイスブレイク」

経営会議も含め社内会議の前は、運動をしながらアイスブレイクをしています。それによりドーパミン分泌、集中力向上が期待できます。面接や会社説明の際にも実施し、求職者様の顔がほぐれていくのが実感できるなどの声もあがっています。

⑤スマートウォッチ「Fitbit」の全社員着用

運動リマインド機能を活かした座りすぎ通知のあるスマートウォッチを全社員に配布し、会社としては心拍数及び、運動量を定期的に観測し、「1・5・1運動」の質向上等による社員の運動習慣化を模索しています。

■「座らない経営」の成果

①eNPSの高記録：日本平均-50~-70を上回る23.8

2023年7月eNPS調査の結果、23.8（6か月前23.0）と日本平均-50~-70に比べて大幅に良好な結果が見られました。ここ半年で、社員数が約2倍と増加したため、下がるのが予想されていましたが、逆の結果となり。また、在籍年数が長いと数値が高くなるという傾向まではみられませんでした。3年以上在籍の人は85.7という驚異的な結果がみられました。日本でeNPSは「0以上」になるだけで高い実績と言われていますが、当社では創業以来、20点以上をキープし続けています。

▼eNPS	※推奨者 (10,9) の割合-否定者 (6-0) の割合											
	Total		～3年		～2年		～1年		～半年		～3ヶ月	
	個数	eNPS	個数	eNPS	個数	eNPS	個数	eNPS	個数	eNPS	個数	eNPS
eNPS	80	23.8	7	85.7	11	18.2	13	38.5	33	18.2	16	0.0
内訳	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合
10~9---Promoter (推奨者)	38	47.5%	6	85.7%	3	27.3%	7	53.8%	16	48.5%	6	37.5%
8~7---Passives (中立者)	23	28.8%	1	14.3%	7	63.6%	4	30.8%	7	21.2%	4	25.0%
6~0---Detractors (批判者)	19	23.8%	0	0.0%	1	9.1%	2	15.4%	10	30.3%	6	37.5%

※eNPSとは

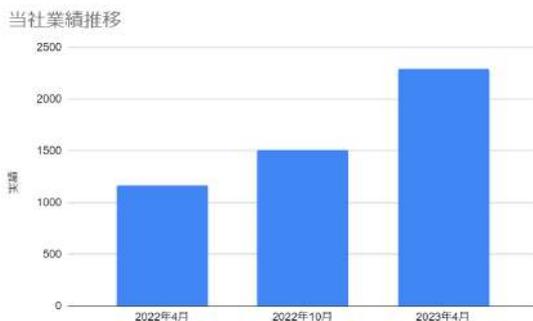
eNPSとは「Employee Net Promoter Score(エンプロイー・ネット・プロモーター・スコア)」の略称であり、「所属企業の他者への推奨度」を数値化したものです。一般的にeNPSが高いほど、従業員満足度が高く、離職はもちろん、生産性等も高いと言われています。具体的には、自分の企業を家族や友人におススメする度合を10段階で評価し、推奨者（9、10と回答）の割合から、批判者（0~6と回答）の割合を引いた数字です。

日本では、5や6をつける「中心化傾向」が強い為、批判者の割合が推奨者よりも多くなるため、調査結果はマイナスになることがほとんどです。他社調査でも回答に対して4~6をつける割合が40%と高く、2006年に行われた類似の研究でも、日本は26カ国中、最も中心化傾向が強い国であるとも発表されています。

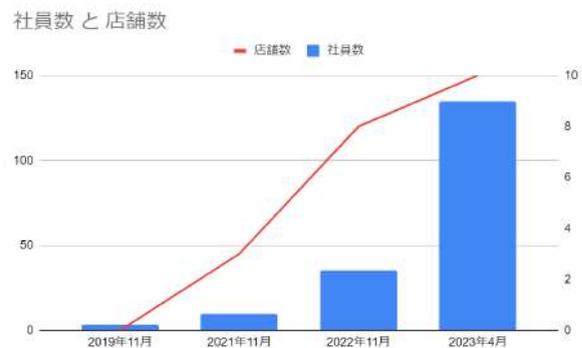
実際、顧客に対して行う「NPS（顧客が使用サービスを家族や友人におススメする度合）」調査の結果を参考にアメリカと比べてると、携帯電話サービス関連のNPSスコアが、アメリカは平均約30ptに対し、日本は平均-50ptという結果でした。その為、日本でeNPSは「0以上」になるだけで高い実績と言えます。

②急速な事業成長：業績対比2倍、店舗数1.5倍、従業員数2倍（前年実績）

このように運動を活用した「座らない会社経営」により、業績は児童発達支援施設の運営を中心に昨年比で2倍、店舗数は「1・5・1運動」などに取り組みだした4月以降で4店舗を開所し計1.5倍の13店舗、社員数は約2倍の100名程に拡大をしております。従業員が増える中でもeNPSを高く維持し事業拡大を継続できております。また、企業理念に共感を持ったリファラルでの採用人数も増えており、組織の急成長を実現しております。



▲2022年4月-2023年4月 当社業績推移

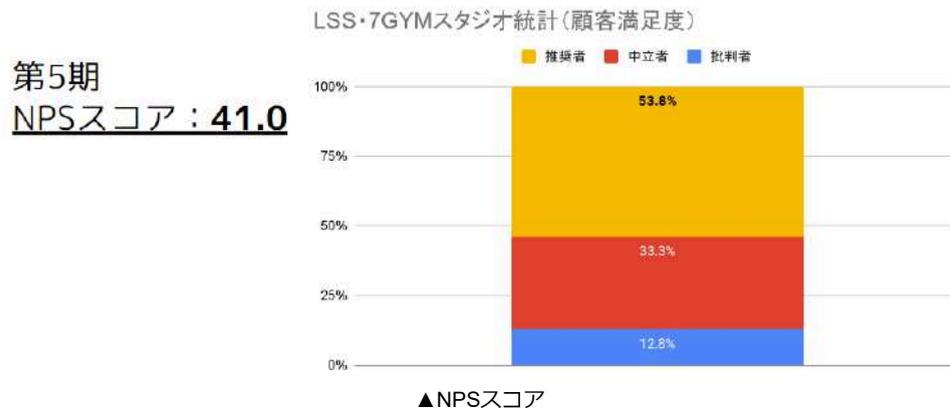


▲社員数・店舗数推移

■上記施策実施結果③高いNPSスコア（顧客満足度）

店舗型ビジネスの場合、急拡大に伴い、顧客満足が著しく下がることがありますが、NPSスコアは、日本の特性上「0以上」になるだけで高い実績と言える中、40以上をキープし続けています。

『あなたはリィのサービスを友人や知人にどの程度おすすめできますか？』



■会社概要

株式会社電算システム

本社所在地：岐阜本社 岐阜県岐阜市日置江1丁目58番地

東京本社 東京都中央区八丁堀2丁目20番8号八丁堀綜通ビル

主な事業内容：情報サービス事業、収納代行サービス事業

URL：<https://www.densan-s.co.jp/>

会社名：株式会社リィ(Lii inc.)

代表者：代表取締役社長 廣瀬あゆみ

本社所在地：愛知県名古屋市昭和区御器所通3丁目8-1御器所セントラルビル3A

事業内容：児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、キッズパーソナルトレーニング事業、クリエイティブ事業、採用支援/組織開発支援事業

URL：<https://liistyle.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先
株式会社リィ 広報：横山(よこやま)・五十嵐(いがらし)
TEL: 090-4326-8906 MAIL: lii_pr@liistyle.co.jp

FAX返信表

【大人の体力測定会・取材のご案内】

ウェアラブルデバイスを活用した体力測定会を実施し、
運動で東証プライム上場企業のチームビルディングを支援
～7/5(金)13:00 @東京蔵前ムーンプレイススタジオ～

FAX番号:052-308-3439 横山(よこやま)五十嵐(いがらし)行

お手数ですが、2024年7月3日(水)12:00までにご都合をお知らせください。

ご出席 ご欠席

お名前：

貴社名：

部署名：

電話番号：

メールアドレス：
